

KAIJO Junior High School

海城中学校

所在地：東京都新宿区大久保3-6-1
 交通：JR線「新大久保」徒歩5分、
 地下鉄副都心線「西早稲田」徒歩8分、
 JR線「大久保」徒歩10分
 生徒数：男子のみ1851名
 TEL：03-3209-5880
 URL：http://www.kaijo.ed.jp/



2013年度 入試結果			
	一般入試(1)	一般入試(2)	帰国生入試
募集人員	145名	145名	30名
受験者数	542名	887名	149名 (Aコース97名、Bコース52名)
合格者数	163名	298名	60名 (Aコース40名、Bコース20名)

一般入試 国語・算数(各50分・120点) 社会・理科(各45分・80点)
 帰国生入試Aコース 国語・算数・社会・理科・面接
 帰国生入試Bコース 算数・総合・面接
 国語・算数・総合(国50分 算・総60分・各120点)
 社会・理科(各45分・80点)
 面接(10分程度・A40点 B24点)

※2104年度以降「帰国生入試」の試験科目を一部変更します。詳細は学校HPをご覧ください。

Premium school



海城中学校

KAIJO Junior High School

東京都 / 新宿区 / 男子校



中高一貫教育を貫徹し 世界に雄飛する人材を輩出

海城中学校・高等学校は、駅付近の整備が進められたJR線「新大久保」駅から徒歩5分という交通至便の地に位置しています。2006年に完成した校舎は耐震構造が自慢で、生徒にとって快適な学習空間となっています。大学進学実績の高さが注目されていますが、都心にありながら広い校庭を持ち、部活動の盛んな学校という一面もあります。高い学力を培う海城の教育に対して、熱い視線が注がれています。



世界に通用する 「新しい紳士」を育成

海城中学校・高等学校は、1891年(明治24年)に海軍予備学校として創立されました。122年という長い伝統を礎とした男子教育を実践し、これまでも多くの俊英を世に送り出しています。

建学の精神として掲げられた「国家・社会に有為な人材を育成すること」を目標とし、いつの世にあっても、自らを失うことなく自己実現を成し遂げ、世のため、人のために行動できるリベラルで力強い人間形成を目標とするのが、海城の教育です。

さらに、21世紀の現代に対応する教育として「新しい紳士」の育成を目標に掲げ、教育活動に励んでいます。

海城の目指す「新しい紳士」とは、「フェアな精神」で物事を判断し、「思いやりの心」で人に接し、「民主主義を守る意思」を持ち、「明確に意思を伝える能力」を有した人物です。

時代の最先端を支える力強い人材育成を実践し、国境を越え、世界に通用する「新しい紳士」を育成している注目校です。

中1〜高1では 基礎学力の涵養を重視

海城は、抜群の大学合格実績を出す男子進学校として広く知られています。

国公立・私立の難関大学進学者が多く、特に近年では、東大や医学部への合格実績が目立ちます。

しかし、受験に対応する学力の養成だけを指した教育が行われているわけではありません。こうした進学実績は、基礎学力の涵養を重視した指導が実を結んだ結果と言えます。

海城は、高校からの生徒募集を行わない完全中高一貫校として、中高6力年のカリキュラムを精査し、基礎学力を充実させるシステムを確立しています。

中1・中2では学習習慣の確立を目指し、中3・高1では基礎学力の定着をはかる指導に力が入られています。主要科目の時間数

は十分に確保され、丁寧な授業が行われています。

さらに、海城が基礎学力を重視する理由には、「大学進学はひとつの過程に過ぎず、より先にある将来の目標に向けて勉強することが大切である」という考えに基づいています。

大学受験は生徒が努力を重ねた結果であり、合格することだけが目的ではないと考え、将来への明確な展望を持って学習に励む生徒を育てています。

進路実現を可能とする 高2からのコース制

中1〜高1までの4年間でしっかりとした基礎学力を身につけたうえで、高2・高3ではそれぞれの志望進路に応じて、大学受験にも対応できる学力の完成を目指しています。

高2からはコース編成授業が開始され、文科コースと理科コースに分かれます。各コースでは、それぞれ必要な教科や科目が的確に配当されたカリキュラムが用意されています。

コース編成によって文系・理系に分かれることになりませんが、どちらのコースでも必修科目は比較的多く設定されているので、幅広い知識の習得が6年間を通じて行われます。

各コースにおけるカリキュラムは、成績や習熟度によって割り振られたものではありません。

生徒一人ひとりの進路に適した中身であることを一番重視しています。

生徒の将来をどう設計していくかがベースとなり、あくまで各人の将来を見据え、必要となるカリキュラムが設定されるのです。

また、授業以外にも、生徒の多様なニーズに応える学力向上システムとして、様々な講習が準備されています。

学習意欲が旺盛な生徒に対応する発展的な内容の講習や、学習内容が十分に定着していない生徒への補足的な役割となる講習などが、各学期中の放課後や夏期・冬期・春期の各休暇中に実施されています。

講習は、各教科担当の先生が必要だと判断した場合に実施されます。

英語の読み書きはもちろんのこと、会話力や聞き取り能力も非常に高いレベルまであげることができず。

近年、各大学入試でその比率が高まってきているリスニング問題への対応力を、どの生徒も自然に身につけることが可能となっています。

また、これらの授業は、確実な語学力定着を目指し、1クラスを2分割した少人数制授業となっていることも特徴的です。

高校では、通常の英語授業に加えてネイティブ講師による課外講習も数多く設置され、英語をしっかりと学ぶ様々な機会が用意されています。

将来の進路も、国内の難関大学だけではなく、海外の大学への進学をも視野に入れた指導が展開されており、まさにグローバルな人材育成を英語教育を通じて実践しています。

魅力ある指導で本物の教養を身につける

海城が目指す教育は、あくまで本物志向です。

大学受験に対応するだけの学力

です。

自主性を重んじる学校なので、受講は原則として希望者を対象としています。受講が必要だと思われる生徒がいる場合には、先生から受講をすすめるアドバイスをします。

一人ひとりに親身な対応がなされ、生徒が持てる能力を十分発揮できるようにするための対策が用意されています。

海城では、こうした万全のバックアップ体制が整えられているので、塾や予備校などに通わなくても、学校の学習をきちんと行うことで、難関大学に合格できる高い学力を養成することが可能です。

また、学習や進学に関する悩みがあれば、専門のカウンセラーも配備されていて、迅速に対応できる仕組みとなっています。

グローバルな視野を育む国際理解教育

海城が特に力を入れているのが国際理解教育です。海外研修や帰国子女の受け入れを積極的に行うなど、これまでも意欲的に取り組んできました。

ではなく、深く考え、そして自ら学んでいくことを大切にしたい学習を展開しています。

そのひとつに、中3で全員が取り組む社会科の「卒業論文」があります。

生徒は、一人ひとり興味・関心を持つそれぞれ異なるテーマを設定し、教員による指導のもと、調査・研究を重ね、その結果を30〜50枚の論文にまとめます。完成後には論文発表も行われ、その内容は非常にレベルが高く、海城が目指す教育の一端を知ることができます。

海城には個性的な先生方も多く、生徒たちは授業とおして大きな刺激を受けています。

最近では、元南極越冬隊員の経験もある先生の指導により、地学部メンバーが化石を発掘し、大人が研究者が集う専門学会において発表する機会が与えられたこともありました。

よりアカデミックな学問追究という視点からの学びは、生徒一人ひとりの本質的成長に結びついています。

そして、海城の特徴は、典型的

2012年度(平成24年度)か

らは、これから国際社会で生きていく人間に求められるグローバルな視野を身につけることを目標として、グローバル教育部が新たに設置されました。

英語教育の促進、国際的視野の育成、海外研修や留学支援の充実、帰国生の支援など、様々な活動を推進しています。

英語教育にも熱心です。「新しい紳士」が活躍する場は国内とは限らず、むしろ、広く地球規模になることが期待されています。その際、自らの能力をいかに発揮するためにも、中高時代に確かな英語力を身につけていくことが重要だと考えています。

英語の授業ではネイティブ教員が多数配置され、中1〜高1までは、ネイティブ教員による英会話の授業と外国文化習得授業が展開されています。

生徒たちは、ネイティブ・スピーカーから直接英語を学ぶという機会をおして、本物の英語に普段から触れるだけではなく、英語を聞く力・話す力を育むことができるのです。

な進学校でありながらクラブ活動がきわめて盛んなことです。

中学生は95%以上、高校生でも80%以上の生徒が何らかのクラブに加入しているという数値からも、学校全体でクラブ活動が活発に行われている様子が伺えます。

下校時間が、中学生は17時、高校生は18時までと定められているため、短い活動時間ですが、各クラブでは時間をうまく使って活動に励んでいます。

海城は学業面を中心に、非常に面倒見のよい学校として定評があります。

しかし、そこに甘んじることなく、より力強い男子生徒を求め、よい意味で野性味を持った男子を育てたいとの希望もあるそうです。

長い伝統を誇るだけではなく、常に革新を目指す気風が感じられることも、海城の魅力なのです。

学校生活を十分に満喫しつつ、高い学力を身につけられる背景には、よく練られたカリキュラムと生徒のために構築された優良なシステム、さらには、時代を先取りする進取の気概、そして、熱心な先生方の存在があります。



放課後理科・英語融合講座



中学修学旅行



プロジェクトアドベンチャー



社会科論文集



入学式



文化祭



スキー教室



ドラマエデュケーション



中学体育祭



を育てていきたいと思っています。

【Q】具体的にどんな改革がなされたのでしょうか。

【水谷先生】「新しい学力」としては、従来型の知識獲得を目的とする学力とともに、複雑な問題を解決する学力の養成、すなわち、自ら課題を設定、調査して、それを熟慮・熟考し、適切な価値判断を下して表現する能力と位置づけました。

「新しい人間力」としては、公正正義を遵守し、他者への想像力を持って共生する力や、コラボレーションする能力の養成に努めています。

【Q】御校は創立から一貫して男子教育を実践されていますが、私立男子校の特徴とはどんなところにあるのでしょうか。

【水谷先生】私学の特徴としては、学校ごとに建学の精神があり、それに沿った教育内容があります。学校生活における多くの部分に、各校の特色を活かせることだと思っています。

また、男子校では、異性の目を気にせず男子だけで伸びのびと勉強、そしてスポーツに励むことができる点に、大きなメリットがあると考えています。

ると考えています。

さらに本校では、先輩・後輩の関係性が非常に濃く、先輩と後輩が協力しあうネットワークが機能しています。この点も特徴的であるのではないのでしょうか。大変貴重だと思えます。先輩は後輩の活躍を期待し、無償の支援を惜しみません。一方、後輩は先輩の生き方から多くのことを学びます。これらは男子校も女子校も同じですが、共学校にはない特徴だと思えます。

【Q】受験生や保護者の方へのメッセージをお願いします。

【水谷先生】今の時代、少し日本全体が内向きになっている印象を受けます。だからこそ、本校では、グローバルな社会を担い活躍する野性味のある人材を育てたいと思っています。

そのためには、①英語が話せること、②国を超え、民族を超え、性(男女)を超えて理解しあい、寛容しあえること。そして、情熱があつてコミュニケーション能力に長け、決断力があつてイニシアチフのとれる人材。このようなリーダーの育成に全力で努めてまいります。

Premium school

海城中学校

KAIJO Junior High School

地球規模で物事を考え実行できる 「新しい紳士」を育てる男子校

1891年(明治24年)に海軍予備学校として創立された海城中学校・高等学校は、長い伝統に支えられた男子教育を実践している学校です。教育の基本理念に「新しい紳士」を育成することを掲げ、学力面でも高い成果をあげ、東大をはじめとする難関大学に数多くの合格者を輩出する進学校として知られています。学校建築としては世界初といわれる新工法によって改築が完了した校舎は、ふんだんに外光がさし込み、生徒がくつろぐことができる生活空間です。

創立122年の伝統を誇る 男子進学校として 時代の要請に応え続ける

リベラルでフェアな精神の 「新しい紳士」を育てていく

【Q】まず、海城中学校・高等学校の沿革と教育理念について教えてください。

【水谷先生】本校は1891年、千代田区麹町に海軍予備校として創立されました。今年で122年という歴史があります。創立されたのは明治憲法ができた翌年ですが、帝国会議が開かれた頃という、近代国家としての発展途上の真っ

ただ中に産まれた学校なのです。現校地へ移ったのは昭和になつてからです。その後、東京大空襲、敗戦を経て、戦後の混乱から復興して現在にいたります。

建学の精神として、「国家および社会に有益な人材を育成する」とことを掲げています。

本校では、リベラルでフェアな精神を身につけた明るく勇ましく思いやりがある「新しい紳士」の育成を目的としています。「新しい紳士」とは、建学の精神を支え

るため、新たにつくられた4点の教育目標である、「フェアな精神」「思いやりの心」「民主主義を守る意思」「明確に意思を伝える能力」を持つ人物のことです。

グローバルに活躍できる 人材の育成を目指す

【Q】時代の要請に応える教育という面ではいかがでしょうか。

【水谷先生】グローバル化がますます進む現在、それに対応できる「新しい人間力」と「新しい学力」を

備えた人づくりを考えてきました。21世紀を目前とした創立100周年の時に、地球規模でものごとを考え、実行できる人材を育てていこうと決意し、教育改革が始まりました。リベラルで個性豊かな学力を備えた人間の育成を目標としています。今年で22年目を迎え、かなり成果が出てきたと思っています。

これからも、本校の教育をとおして、多様な価値観を尊重しつつ、自らの考えをしっかりと持った人材



みずたに ひろし 校長先生